

2022年度（第46回）

通 常 総 会 資 料

千葉県環境計量協会

2022年度（第46回）通常総会次第

1. 開 会

2. 成立宣言

3. 会長挨拶

4. 来賓挨拶

5. 議 事

第1号議案 2021年度 事業報告

第2号議案 2021年度 決算報告

会計監査報告

第3号議案 規約改正の件

第4号議案 役員改選の件

第5号議案 2022年度 事業計画（案）

第6号議案 2022年度 収支予算（案）

6. 連絡事項

7. 閉会

第1号議案

2021年度 事業報告

1. 会員の状況

退会 正会員 東洋テクノ(株) (2021年4月27日付)

これにより本年度終了時点で、正会員37社、賛助会員11社、合計48社となる。

2. 役員の状況

2021年3月31日現在の役員は次のとおりである。

会長	： 福田 茂晴	(東京パワーテクノロジー(株))
副会長	： 平山 千恵子	((株)加藤建設)
副会長	： 野口 康成	((株)太平洋コンサルタント)
総務委員長	： 安田 喜孝	((株)日立産機ドライブ・ソリューションズ)
経営・業務委員長	： 川口 弘樹	(中外テクノス(株))
教育・企画委員長	： 箭内 朋子	(日鉄環境(株))
技術委員長	： 野田 典広	(基礎地盤コンサルタンツ(株))
広報・情報委員長	： 柴田 美保子	((株)コスモス)
監事	： 岩瀬 和哉	(JFEテクノリサーチ(株))
監事	： 田辺 善昭	((株)三井 E&S テクニカルリサーチ)

3. 会議

(1) 通常総会 (担当 総務委員会)

月 日：2021年4月23日(金) 中止

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、通常総会の開催を中止とし、委任状により審議事項の決議を実施した(5月14日締切)。

成立要件：正会員37社、委任状提出30社(1/2以上)

内 容：第1号議案2020年度 事業報告の件

承認(賛成：30事業所、反対：0事業所)

第2号議案2020年度 決算報告の件(会計監査報告)

承認(賛成：30事業所、反対：0事業所)

第3号議案2021年度 事業計画(案)

承認(賛成：30事業所、反対：0事業所)

第4号議案2021年度 収支予算(案)

承認(賛成：30事業所、反対：0事業所)

(2) 理事会

会務執行のため、理事会を4回開催した。

2021年 6月 4日 合同委員会の開催確認、コロナ禍における各行事の活動方法、首都圏環協連の参加方法等

8月 4日 新任者セミナー他各種行事の開催方法、首都圏環協連の件、賛助会員の議決権の件等

11月26日 新春講演会の開催、役員改選の件、会員募集の件等

2022年 1月28日 赤本、千環協ニュース発行の件、船橋市との災害防止協定の件、役員改選の件、会計監査の実施方法、首都圏環協連合同研修会等

(3) 合同委員会

(担当 経営・業務委員会)

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、会場参加は中止とし、各委員長より委員へのメール配信等による案内とし、行事の開催等について協議した。

4. 研修会・講演会

(1) 2021年度経営者・中堅社員向けセミナー

(担当 経営・業務委員会)

開催無し

(2) 2021年度新任者教育セミナー

(担当 教育・企画委員会)

日：2021年10月21日(木)、10月22日(金)

場 所：(一社)日本環境測定分析協会本部よりオンライン開催

出 席：人員25名(首都圏環協連全体 113名)

内 容：一般社団法人日本環境測定分析協会関東支部と首都圏環協連による共催にて開催した。

[講義] ①環境計量の仕事とは 講師 津上 昌平 氏

②労働安全衛生 講師 菅原 昇 氏

③精度よい測定のために 講師 佐々木 克典 氏

(3) 2021年度研修見学会

(担当 教育・企画委員会)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一般社団法人日本環境測定分析協会関東支部と首都圏環協連共催による「オンラインツアー」と「オンライン講演」形式で開催した。

日：2021年9月29日(水)

場 所：オンライン開催

出 席：人員6名(首都圏環協連全体 41名)

内 容：第1部テーマ：「沖縄から自然環境を学ぶ！サンゴの不思議」
第2部テーマ：「企業のSDGsへの取り組みについて（仮題）」

(4) 2021年度技術委員会成果発表会及び実務者技術フォーラム
(担当 技術委員会)

月 日：2021年11月26日（金）
場 所：千葉市民会館およびオンライン開催（ハイブリッド形式）
参加者：9社13名
内 容：

- (ア) 技術委員会成果発表等
第42回共同実験（トリクロロエチレン）取りまとめ報告
- (イ) 技術事例発表
新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止とした。
- (ウ) 実務者フォーラム
 - ① 今回共同実験について
 - ② 基準値強化される六価クロム分析への対応
 - ③ その他、分析・計量に関する課題

(5) 新春講演会・賀詞交換会
(担当：総務委員会)

月 日：2022年1月28日（金）
場 所：プラザ菜の花およびオンライン開催（ハイブリッド形式）
参加者：17社25名（千葉県計量検定所1名、講演者1名）
内 容：① 千葉県計量検定所より連絡事項
千葉県計量検定所 樋爪 紀子 様
② 事務連絡（技術委員会より新着情報）
「六価クロム基準値強化にあたって、地盤材料の対応の方向性」
技術委員長 野田 典広 様
③ 講演
「全球入魂！仕事とは何か？」
元パリーグ審判員 山崎 夏生 様

5. その他の事業

(1) 広報・情報委員会

(ア) 千環協ニュース発行

2019年度、2020年度の情報を千環協ニュース92号93号合併号として2021年8月に発行した。

2021年度の活動報告は、千環協案内(赤本)と合本とし発行することとした。

千環協案内がメインのため印刷はワタナベメディアプロダクツへ依頼をした。2022年4月初旬に発送予定。発送先は千環協会員、関東近県の県単、官公庁の環境関連部署等、約240箇所

(2) 総務委員会

(ア) 第33回ソフトボール大会

新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止とした。

(3) 経営・業務委員会

(ア) 千環協案内の作成・配付

2021年度版千環協案内を作成、会員及び関係機関へ配布した。

(2022年4月に会員、千葉県、地元市町村等 計240部)

6. 協力関係

(1) (一社) 日本環境測定分析協会

千環協より、副会長(野口 康成 ; (株)太平洋コンサルタント)が関東支部役員として、会務の執行にあたった。

(2) 首都圏環境計量協議会連絡会

本年度は、千環協から4名の委員を派遣し、各種事業に参画、協力した。

(ア) 委員会 4回

月 日 : 2021年 6月16日 (水)

2021年 8月 5日 (木)

2021年12月15日 (水)

2022年 2月17日 (木)

議 題 : ① 各県単の取組紹介

② 適正価格制度に対する対応について

③ 新型コロナウイルス感染症予防対策と災害時協定等

(イ) 環境計量証明事業団体合同研修会 (2022年2月17日)

内 容 : ① 2021年度 県単における事業活動状況

② 自治体との災害時における協定の動向

③ 会員企業のBCP活動に関する取り組み

④ 会員企業のSDGsに関する取り組み

7. その他

・ 配布資料等

(1) 新任者教育テキスト

(2) 第42回共同実験結果（トリクロロエチレン）

(3) 千環協ニュース92号、93号合併号

(4) ホームページを通じた情報発信

協会から会員向けの情報発信が9回、行政からの情報を会員向けに掲載した情報は新型コロナ関連の通知が多かったため35回実施しました。

8. 第42回共同実験 参加事業所

(五十音順) 計19機関

- | | |
|------------------|------------------------|
| ・イカリ消毒(株) | ・AGC(株)千葉工場 |
| ・(株)上総環境調査センター | ・(株)環境コントロールセンター |
| ・(株)合同資源 | ・JFEテクノリサーチ(株) |
| ・(株)太平洋コンサルタント | ・(株)ダイワ |
| ・(株)千葉分析センター | ・中外テクノス(株) |
| ・東京テクニカル・サービス(株) | ・東京パワーテクノロジー(株) |
| ・(株)永山環境科学研究所 | ・日鉄環境(株) |
| ・(公社)船橋市清美公社 | ・(株)古河電工アドバンストエンジニアリング |
| ・(株)三井化学分析センター | ・(株)ユーベック |
| ・菱冷環境エンジニアリング(株) | (幹事) 基礎地盤コンサルタンツ(株) |

第2号議案

2021年度 収支決算書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

単位：円

科 目	予 算 ①	決 算 ②	差 額 ②-①
[収入の部]			
前期繰越金	1,424,313	1,424,313	0
会費	2,350,000	2,300,000	▲ 50,000
雑収入	0	28	28
収入計	3,774,313	3,724,341	▲ 49,972
[支出の部]			
(事業費)	(1,250,000)	(852,832)	(▲ 397,168)
研修見学・講演会	150,000	30,000	▲ 120,000
協力関係費	350,000	148,000	▲ 202,000
委員会活動費	750,000	674,832	▲ 75,168
(会議)	(150,000)	(110,419)	(▲ 39,581)
(事務費)	(1,260,000)	(1,113,793)	(▲ 146,207)
印刷費	120,000	38,500	▲ 81,500
通信費	400,000	362,128	▲ 37,872
消耗品費	30,000	3,165	▲ 26,835
事務委託費	710,000	710,000	0
(雑費)	(110,000)	(104,510)	(▲ 5,490)
雑費	10,000	4,950	▲ 5,050
記念事業準備金	100,000	100,000	0
支出計	2,770,000	2,181,994	▲ 588,006
来期繰越	1,004,313	1,532,647	528,334
特別会計調整分	0	9,700	9,700
(積立金残高)	(500,000)	(500,000)	0
合 計	3,774,313	3,724,341	▲ 49,972


(備考) 来期繰越金額に、積立金残高は含んでいない。

なお、2会員において年会費の入金が遅れているため、次年度の予算に組み入れることとした。

監査報告書

2021年度収支決算書について詳細に監査した結果、適正であることを認めます。

2022年4月6日

監事 田辺 善昭 

第3号議案

(規約改正の件)

千環協規約では、賛助会員に制限が設けられております(第5条, 第10条, 第16条, 第17条)。協会活動において、正会員だけで運営を継続していくことは難しく、すべての会員に協力を仰いでいきたいと考えております。

つきましては、下記の通り規約を改正いたしたく、ご審議のほどお願いいたします。

改正後	改正前
(会 員) 第 5 条 本会の会員は、正会員、賛助会員により構成する。 2. 正会員は千葉県に登録した濃度、特定濃度、音圧レベル、振動加速度レベルに係る計量証明事業者で、本会の趣旨に賛同する法人とする。	(会 員) 第 5 条 本会の会員は、正会員、賛助会員により構成する。 2. 正会員は千葉県に登録した濃度、特定濃度、音圧レベル、振動加速度レベルに係る計量証明事業者で、本会の趣旨に賛同する法人とし、 <u>総会における議決権を有する。</u>
(役員の選出) 第 10 条 理事及び監事は総会において会員中より選出する。なお、任期途中にて同一会員事業所内での役員の交代については、理事会にて承認する。	(役員の選出) 第 10 条 理事及び監事は総会において会員中より選出する。 <u>ただし、会長及び副会長は正会員中より選出する。</u> なお、任期途中にて同一会員事業所内での役員の交代については、理事会にて承認する。
(総会の成立) 第 16 条 総会は会員の2分の1以上の出席により成立する。ただし委任状を提出したものは出席者とみなす。	(総会の成立) 第 16 条 総会は <u>正会員</u> の2分の1以上の出席により成立する。ただし委任状を提出したものは出席者とみなす。
(決 議) 第 17 条 総会の議事は出席会員の過半数で決する。可否同数のときは議長の決するところによる。	(決 議) 第 17 条 総会の議事は出席 <u>正会員</u> の過半数で決する。可否同数のときは議長の決するところによる。

第4号議案

(役員改選の件)

2022年度役員候補(案)

会長	: 津上 昌平	(有) ケーズオフィス	(新任)
副会長	: 平山 千恵子	(株) 加藤建設	(留任)
副会長	: 野口 康成	(株) 太平洋コンサルタント	(留任)
総務委員長	: 安田 喜孝	(株) 日立産機ドライブ・ソリューションズ	(留任)
経営・業務委員長	: 川口 弘樹	中外テクノス(株)	(留任)
教育・企画委員長	: 箭内 朋子	日鉄環境(株)	(留任)
技術委員長	: 野田 典広	基礎地盤コンサルタンツ(株)	(留任)
広報・情報委員長	: 柴田 美保子	(株) コスモス	(留任)
監事	: 田辺 善昭	(株) 三井 E&S テクニカルリサーチ	(留任)
監事	: 松本 崇	東京パワーテクノロジー(株)	(新任)
顧問	: 内野 洋之		

2022年度 事業計画（案）

新型コロナウイルス感染症に留意して事業活動を展開する。

1. 研修会・講演会等の実施
技術の習得や、知識の向上を図るため、研修見学会、講演会等を実施する。
2. 技術事例発表会、新任者教育、会員交流会の実施
技術委員会の下に、共同実験活動を行い、その研究成果を発表するとともに、会員による測定分析についての技術事例発表会を実施する。また、新任者教育、会員交流会、勉強会を適宜開催する。
3. 共同実験と実務者技術フォーラムの実施
会員相互の技術レベルの向上を図るため、共通試料を用いた共同実験を行い、その結果を基に、実務者同士の意見・情報交換会（技術フォーラム）を実施する。
4. 情報の収集と提供
官公庁、日環協、首都圏環協連等から関連情報の収集に努め、研修会、会誌等を通じて会員に提供する。また、会員への情報提供、協会活動のPR、会員相互の情報交換のためにホームページを活用する。
5. 協力関係
日環協関東支部、首都圏環協連等の関連団体の各事業に参画し、リスク（特に感染症対策）に対する協力関係のあり方等の情報を収集して会員各社に提供する。
6. 親睦関係
会員相互の親睦を深めるため、ソフトボール大会あるいは感染症リスクの小さい行事を開催し、交流する場を設ける。
7. 入札制度
改善要望関連国や周辺自治体における情報を収集し、日環協、首都圏環協連等と連携した活動を行う。
8. 会員を増やすための取組み
正会員、賛助会員にとってメリットのある活動を提案・推進し、当協会のPR・普及に努める。

第6号議案

2022年度収支予算（案）

（2022年4月1日～2023年3月31日）

単位：円

科 目	予 算	摘 要
[収入の部]		
前期繰越金	1,532,647	
会費	2,500,000	会員数48+期ズレ100,000円
雑収入	0	
収入計	4,032,647	
[支出の部]		
(事業費)	(1,250,000)	
研修見学・講演会	150,000	
協力関係費	350,000	
委員会活動費	750,000	
(会議)	(150,000)	
(事務費)	(1,320,000)	
印刷費	120,000	
通信費	400,000	
消耗品費	30,000	
事務委託費	770,000	
(雑費)	(110,000)	
雑費	10,000	
50周年記念事業費	100,000	
支出計	2,830,000	
来期繰越	1,202,647	
特別会計調整分	0	
(積立金残高)	(600,000)	
合 計	4,032,647	

（備考）来期繰越金額に、積立金残高は含んでいない。